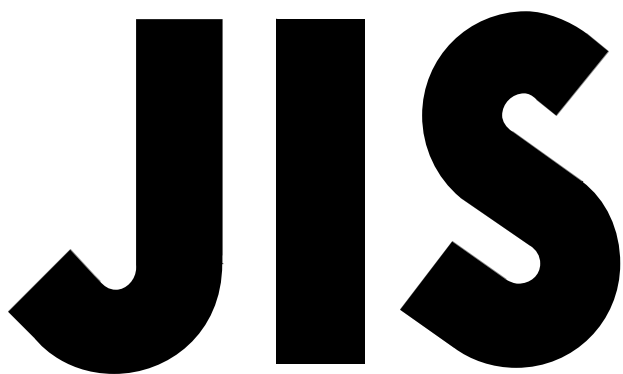




排ガス中のダスト濃度の測定方法

JIS Z 8808 : 2013

(JEMCA/JSA)

平成 25 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 環境・資源循環専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	稲 葉 敦	工学院大学
(委員)	安 藤 修	一般社団法人日本分析機器工業会 (株式会社島津製作所)
	井 田 久 雄	一般社団法人プラスチック循環利用協会
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	尾 張 真 則	東京大学
	小 竹 忠	一般社団法人日本自動車工業会
	佐 藤 実	一般社団法人電子情報技術産業協会
	田 尾 博 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	田 村 一 之	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	中 村 利 美	一般財団法人化学物質評価研究機構
	西 尾 チヅル	筑波大学
	秦 義 一	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	藤 倉 まなみ	桜美林大学
	二 村 睦 子	日本生活協同組合連合会
	松 本 芳 彦	一般社団法人日本化学工業協会
	茂 木 なほみ	主婦連合会
	横 山 宏	一般社団法人産業環境管理協会
	吉 川 和 身	環境省総合環境政策局
	脇 浩 史	一般社団法人日本電機工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 38.6.1 改正：平成 25.8.20

官 報 公 示：平成 25.8.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本環境測定分析協会

(〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 2-3-4 TEL 03-3878-2811)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：環境・資源循環専門委員会 (委員長 稲葉 敦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 測定方法の概要	2
5 測定位置, 測定孔及び測定点	4
5.1 測定位置	4
5.2 測定孔	4
5.3 測定点	4
6 排ガス温度の測定	6
6.1 測定点	6
6.2 測定装置	6
6.3 測定方法	6
7 排ガス中の水分量の測定	6
7.1 吸湿管による方法	6
7.2 計算によって求める方法	12
8 排ガスの流速及び流量の測定	14
8.1 測定点	14
8.2 測定装置	14
8.3 排ガス流速の測定方法	14
8.4 排ガス流量の求め方	16
9 ダスト試料採取装置	16
9.1 ダスト試料採取装置の種類	16
9.2 ダスト試料採取装置の構成	17
9.3 普通形試料採取装置	17
9.4 普通形自動試料採取装置の性能及び性能試験方法	24
9.5 平衡形試料採取装置	25
9.6 平衡形試料採取装置の性能及び性能試験方法	29
10 ダスト試料の採取方法	29
10.1 測定点	29
10.2 ダスト試料の採取方法及びトラベルブランク試験	29
10.3 ダスト試料の採取準備	29
10.4 ダスト試料の採取	30
10.5 吸引ガス量の測定方法	31
11 ダスト濃度の計算	31
11.1 各測定点の乾き排ガス中のダスト濃度	31

	ページ
11.2 全断面の乾き排ガス中の平均ダスト濃度	32
11.3 ダスト濃度測定値の丸め方	32
12 ダスト流量の計算	32
13 測定値の記録	33
附属書 A (規定) 普通形自動試料採取装置及び平衡形試料採取装置に関する性能及び性能試験方法	34
解 説	37

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本環境測定分析協会（JEMCA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 8808:1995** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

排ガス中のダスト濃度の測定方法

Methods of measuring dust concentration in flue gas

1 適用範囲

この規格は、排ガス中のダスト濃度を煙道、煙突、ダクトなど（以下、ダクトという。）において測定する方法について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS B 7411** 一般用ガラス製棒状温度計
- JIS B 7551** フロート形面積流量計
- JIS B 8330** 送風機の試験及び検査方法
- JIS G 3448** 一般配管用ステンレス鋼鋼管
- JIS G 4303** ステンレス鋼棒
- JIS K 0901** 気体中のダスト試料捕集用ろ過材の形状、寸法並びに性能試験方法
- JIS K 8125** 塩化カルシウム（水分測定用）（試薬）
- JIS K 8230** 過酸化水素（試薬）
- JIS M 8813** 石灰類及びコークス類—元素分析方法
- JIS R 3503** 化学分析用ガラス器具
- JIS T 8202** 一般用風速計
- JIS Z 8103** 計測用語
- JIS Z 8401** 数値の丸め方
- JIS Z 8704** 温度測定方法—電気的方法
- JIS Z 8705** ガラス製温度計による温度測定方法
- JIS Z 8762-1** 円形管路の絞り機構による流量測定方法—第1部：一般原理及び要求事項

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS Z 8103** によるほか、次による。

3.1

排ガス

燃料、その他のものの燃焼・合成・分解、熱源としての電気の使用、機械的処理などに伴って発生する固体粒子を含むガス。水分を含まないガスを乾き排ガスといい、水分を含むガスを湿り排ガスという。